

○議題 3 岐阜県における豚熱対策の情報発信

豚熱関連の調査結果の公表について、第 11 回岐阜県 CSF 有識者会議において委員から提案があったため、県公式ホームページ等での情報提供を進めている。

1 HP の整理

- ・ 発生当初から時系列で情報が掲載しており、必要な情報にたどり着けなかったものを、テーマ別のページを作成するなど、情報を再構築。

2 「グラフで見る豚熱の現状」（県公式 HP）の新設

- ・ 県が実施した検査データなどを、簡単な解説とともにグラフ化し、掲載する。
- ・ 掲載したグラフ等は、PDF 形式のファイルを添付し、ダウンロード可能とする。

「グラフで見る豚熱の現状」の内容

①飼養豚の免疫付与状況

内 容：半年ごとに検査している飼養豚の免疫付与状況について、「免疫付与率の推移」、「母豚の抗体レベルの分布とその推移」を掲載。

更新頻度：半年に 1 回

②県内野生いのししの感染率、免疫獲得率の推移

内 容：野生いのししのサーベイランス結果を掲載。

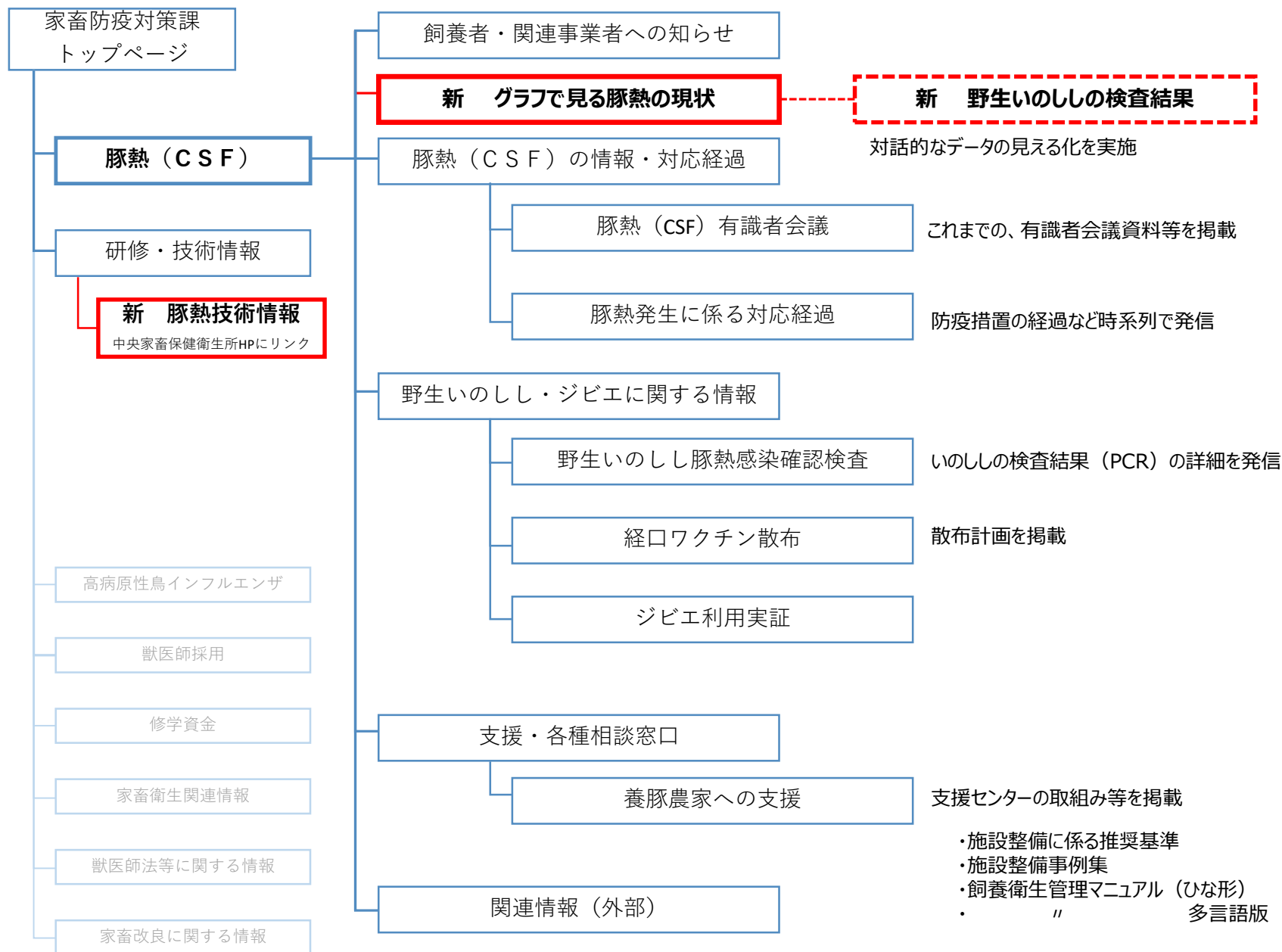
更新頻度：月に 1 回

- ・ 野生いのししのサーベイランス結果について、対話的なデータの見える化を試行・公開。

3 「岐阜県における豚熱対応記録（防疫記録誌）」の作成

- ・ 豚熱の発生以降、本県が取り組んできた防疫措置、農場を守る対策、野生いのしし対策などについて記録誌を作成。
- ・ 現在作成中であり、今年度 9 月をめどに、県公式ホームページに掲載予定。

豚熱関連ホームページ サイトマップ（整理後）



[トップページ](#) > [分類でさがす](#) > [産業・農林水産・労働・観光](#) > [畜産業](#) > [家畜衛生](#) > [グラフで見る豚熱の現状](#)

重要なお知らせ

知事会見 (全国高等学校総合文化祭岐阜県実行委員会の設立 他)

営業時間短縮 協力金・支援金

グラフで見る豚熱の現状

記事ID : 0227831 2022年7月1日更新 [家畜防疫対策課](#)

豚熱 (CSF) 関連の検査結果をグラフ等でご紹介します。

飼養豚の免疫付与状況

〇県では令和元年10月以降、農場で飼養されている豚などに豚熱のワクチンを接種し、その効果を半年に一度、検査しています。

R3年度の検査結果 解説

(1) 母豚

80%以上の免疫付与率を維持していますが、母豚の更新等により、抗体レベル (免疫付与における抗体量の水準) の低い個体の割合が増加しました。

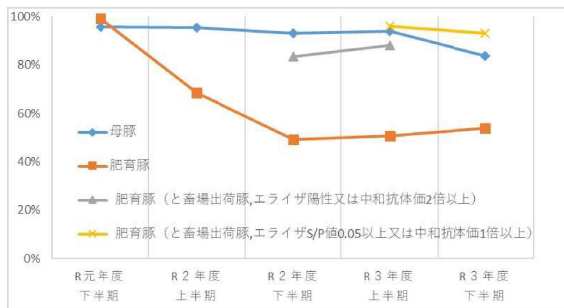
(2) 肥育豚

農場毎の母豚の抗体レベルに応じた時期に接種を実施していますが、免疫付与率は低い状況です。

一方、と畜場出荷時点の免疫付与率は、概ね8割に達していることを確認しています。

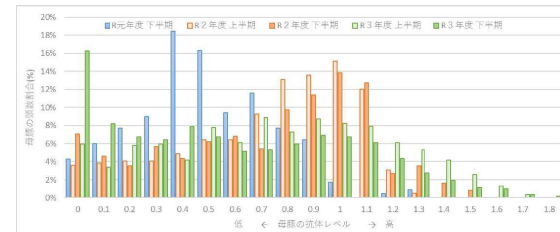
[R3年度下半期検査結果の解説 \[PDFファイル/371KB\]](#)

免疫付与率の推移



※抗体の検査方法はエライザ検査による。

母豚の抗体レベルの分布とその推移

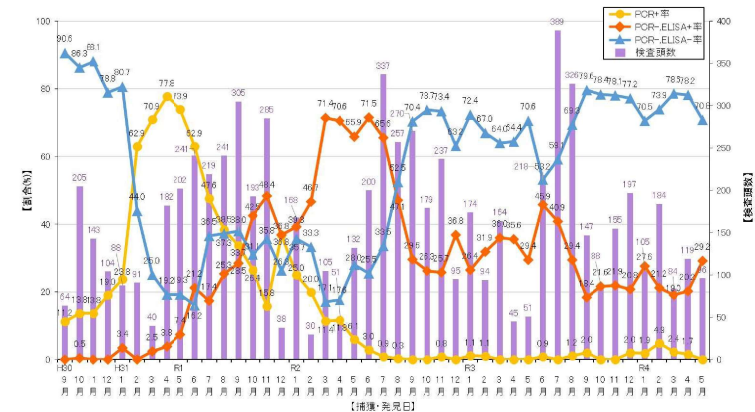


※横軸はエライザ検査における「SP値」

野生いのししの感染率、免疫獲得率の推移

〇県では平成30年9月の豚熱発生以降、野生いのししの豚熱感染検査や抗体検査を実施しています。

免疫の獲得率 (「PCR-、ELISA+率」; オレンジ色) は、現在、20%程度で推移しています。



[県内野生いのししのPCR, ELISA陽性率の推移 \[PDFファイル/72KB\]](#)

このページの内容に関するお問い合わせ先

[家畜防疫対策課](#) (防疫企画係)

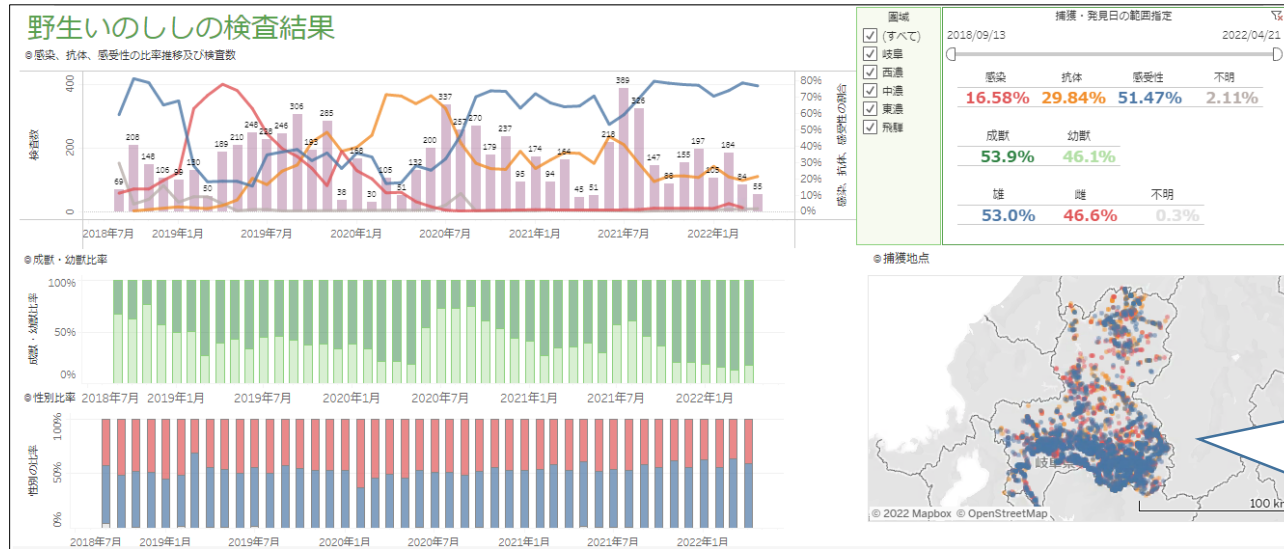
県庁9階 電話番号 : 058-272-8909 FAX : 058-278-3533

[メールでのお問い合わせはこちら](#)

対話的なデータの見える化（野生いのししのサーベイランス結果）

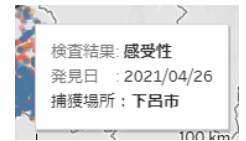
- 野生いのししのサーベイランス結果を、グラフや地図で見える化
- 期間や圏域、性別等で絞り込み可能（各グラフ等が連動して変化）

◇画面全体

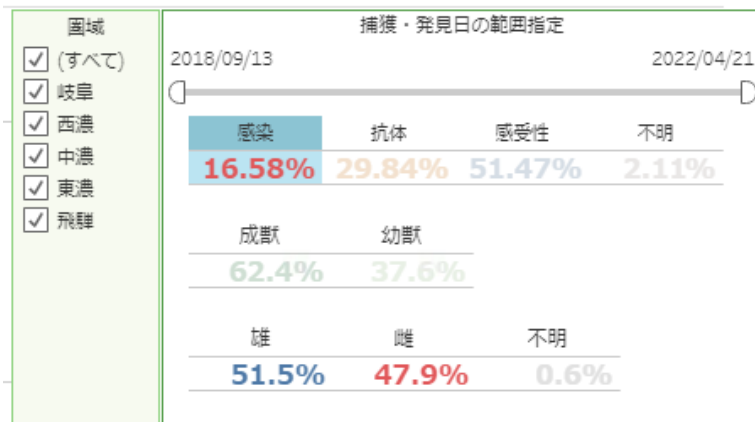


【絞り込み条件】
 期間、圏域
 感染・抗体・感受性
 成獣・幼獣
 性別（雄・雌）

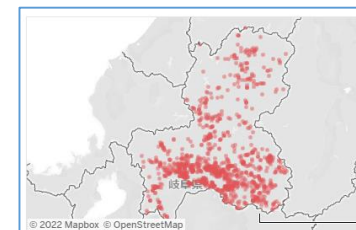
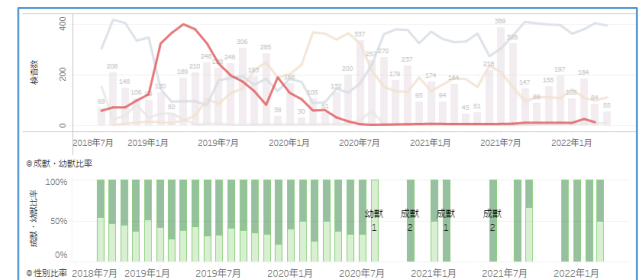
【地図表示】
 各個体の捕獲位置を地図上に表示
 マウスをあわせて情報表示



◇絞り込み操作



- 「感染」をクリック
- 「感染」個体の成獣・幼獣割合を表示
- 「感染」個体のみ地図に表示



➤ 数値も変化（成獣・幼獣割合、性別割合）

「岐阜県における豚熱対応記録」 目次

はじめに

第1章 豚熱（CSF、豚コレラ）対応の変遷 1

第2章 防疫措置

- 1 日本で26年ぶりとなる豚熱発生確認までの経過 3
- 2 異常の通報～防疫措置、制限解除までの流れ（時間軸は一例） 18
- 3 異常の通報～病性診断、診断後の対応 20
- 4 移動自粛～消毒ポイント設置、埋却地確保 26
- 5 殺処分、埋却、家畜排せつ物処理等 28
- 6 評価・補償 35
- 7 疫学調査 37
- 8 広報 39
- 9 資材の調達 40
- 10 動員、応援、協定による支援 45
- 11 職員への対応 52

第3章 対策本部等の体制

- 1 岐阜県家畜伝染病対策本部 53
- 2 現地対策本部 54
- 3 国現地対策本部 58
- 4 岐阜県CSF対策有識者会議 59

第4章 農場を守る対策

- 1 発生初期の緊急対策 66
- 2 早期出荷への取組み 68
- 3 強い畜産構造改革支援事業（県単独補助事業） 70

第5章 国に対する要望・提案

- 1 発生後から関係8県緊急要望（令和元年9月実施）まで 71
- 2 全国知事会CSF対策プロジェクトチーム 74
- 3 関係法令の改正 76

第6章 豚へのワクチン接種の開始と飼養衛生管理の強化

- 1 接種までの経過 81
- 2 初回一斉接種～モニタリング実施 82
- 3 愛玩・飼養いのししへの接種 86
- 4 県独自の飼養衛生管理基準の策定 89

第7章 野生いのしし対策

- 1 野生いのししの豚熱感染経過 92
- 2 野生いのしし豚熱感染拡大防止柵の整備等 104
- 3 捕獲による個体数削減（生息密度低下） 105
- 4 経口ワクチン散布及びサーベイランス 108
- 5 一般向け広報強化等 115

第8章 養豚業再生

- 1 令和元年11月までの取組み 116
- 2 令和元年11月立ち上げの養豚業再生支援策 117
- 3 県産豚肉のPR 119
- 4 ブランド豚「ポーノブラウン」の再造成 122
- 5 養豚業再生支援センターの設置と支援 124

第9章 家畜防疫体制の強化

- 1 飛騨家畜保健衛生所の移転整備 130
- 2 獣医師の人材育成 132

資料編